

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度藤井寺市総合計画審議会
開 催 日 時	令和7年12月18日(木) 午後6時00分 ~ 午後7時45分
開 催 場 所	藤井寺市役所 3階305会議室
出 席 者	(審議会委員) 的場会長、木村副会長、家田委員、松川委員、下井委員、田中委員  (市側) 岡田市長、山本政策企画部長、井口戦略調整課長、金澤戦略調整課課長代理、 田中主査、南口副主査
会 議 次 第	1. 開会 2. 市長挨拶 3. 会長挨拶 4. 案件 (1) 第六次藤井寺市総合計画<令和6年度分>の点検・評価について (2) 令和6年度企業版ふるさと納税寄附活用事業の効果検証について (3) その他 5. 閉会
配 付 資 料	・ 令和7年度藤井寺市総合計画審議会次第 ・ 藤井寺市総合計画審議会委員名簿 ・ 資料1 第六次藤井寺市総合計画<令和6年度分>内部点検・評価 ・ 資料2 内部点検・評価の見方 ・ 資料3 令和6年度企業版ふるさと納税寄附活用事業効果検証 ・ 資料4 地域再生計画 ・ 資料5 第六次藤井寺市総合計画<令和6年度分>点検評価・審議会意見まとめ ・ 資料6 令和6年度企業版ふるさと納税寄附活用事業効果検証・審議会意見まとめ
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他 (            )
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍 聴 者 数	1人
そ の 他 必 要 事 項	

## 1. 開会

## 2. 市長挨拶

委員の皆様には、平素より、本市の市政運営に対し、格別なご理解とご協力をいただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

現在本市では、令和6年度からスタートしている「第六次藤井寺市総合計画」に掲げる各種の取組を進めながら、その財源確保方策の一つとして、民間企業等からの「企業版ふるさと納税」の活用にも、積極的に取り組んでいるところです。

こうした「第六次藤井寺市総合計画」の取組や「企業版ふるさと納税」を活用した事業については、行政内部での評価に加え、客観的な視点による外部評価を行い、今後の取組や事業展開につなげていくことが重要であると考えております。

このことから、本審議会を開催させていただき、委員の皆様より、本市の取組に対し、忌憚のないご意見やアドバイスをいただいてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

## 3. 会長挨拶

皆様におかれましては、夕刻よりお集まりいただき、誠にありがとうございます。

本日議題にしますのは、私たちが策定に携わり、令和6年度から始まっている第六次藤井寺市総合計画の取組状況について、1年が経過し、どのような状況になっているのかを話し合い、意見を出していきたいと思っています。

第六次藤井寺市総合計画では、将来像を「笑顔と活気に満ちた快適なまち ふじいでら ～人と歴史が活きる未来へ～」として、藤井寺市に住む人や働く人などが、古き歴史とともに、生き活きと発展していくまちになればいいなという思いを込めて、この計画を策定したものでございます。

この後、限られた時間ではありますが、皆様方から忌憚のないご意見をいただけたらと思いますので、どうか会議終了まで、よろしくお願いをいたします。

## 4. 案件

### (1) 第六次藤井寺市総合計画<令和6年度分>の点検・評価について

事務局より、資料1、資料2及び資料5を用いて説明

#### <委員意見>

- ・第六次総合計画では、限りある財源や人材等の中で、メリハリを付けて施策を推進していくため、5つの施策の柱ごとに重点施策を定め、施策推進のウエイトを計画期間中に調整しながら、取組を進めることとしている。このウエイトでは、計画期間の前半は、未来への投資に向けた「稼ぐ」基盤づくりとして、まずは、「魅力向上・観光振興」にウエイトをおいて取組を進めていくこととなっており、その辺のウエイトがどのようになっているのかを分かるようにしてはどうか感じた。
- ・各項目の最初に目標指標が示されているが、この数字は、総合計画策定の際に、いつ頃の段階で決められたものだったのか。
- ・【事務局】基本計画の各項目において目標指標を定めているが、総合計画は令和5年度中に策定を進めてきたことから、目標指標の起点は令和4年度の現状値を基本とし、その起点を基に、令和9年度及び令和

13年度の目標値を定め、その進捗状況等を検証していくこととしている。

- ・5つの施策の柱の一番目の重点施策である「魅力向上・観光振興」については、あまりお金が使われていないという印象であり、目標指標についても、成果が十分に表れていないと感じる。具体的な施策である歴史文化、観光振興、そして、商工業の振興も含め、ソフト面で事業費が確保されていないのではないかと。
- ・藤井寺市の魅力向上に向けたアイセルシュラホールなどのハード整備は行われているものの、ソフト面での情報発信やその体制づくりも重要ではないかと思う。YouTubeによる情報発信にも取り組まれているが、コンサル委託などにより、専門的な観点で情報発信し、その情報発信やシティプロモーションが、最終的に移住・定住にどのようにつながっているのかなどの分析も必要ではないか。そういった部分のソフト面に予算を取るなり、少し考え方を変えた目標指標の設定なども検討してはどうかと思った。
- ・藤井寺市の産業として市内には本当に色々な企業さんがあり、また、官民連携や大学との連携なども実施されているということなので、その辺をもっとシティプロモーションや観光推進の取組の中に、ストーリーとして取り入れていってもいいのではないかと。
- ・今回、非常に詳細な資料1を示していただき、各委員に対して意見を求められたが、他市等ではもう少し議論の焦点を絞って、重点施策を含めた施策単位で検証しているところもある。この資料1はバックデータとして残しながら、1年間の進捗状況として、施策単位で、何が進んで、何が課題となり、今後どうしていきたいのかといった方向性などを示していただき、それに対して、我々が意見を出していくという形の方が良いのではないかと。
- ・【事務局】今回は、第六次総合計画の初年度である令和6年度分の点検・評価であり、令和6年度の実施計画事業の項目ごとの結果をまとめたのがこの資料1になっている。次年度以降の審議会での評価方法については検討させていただきたい。
- ・【事務局】今回、79個ある目標指標について、目標達成及び計画通りが42個で53%、横ばいが22個の28%、下降が11個の14%、現状で数値計上ができないその他は4個の5%となっており、81%の指標において、一定の成果が上がっているものと考えている。また、全30施策分野ごとに3つある取組方針ごとの評価については、全90項目のうち、74%にあたる67個が「Aの計画通り進行」、26%にあたる23個が「Bのおおむね計画通りだが、一部未実施・未達成」となっており、こちらも、7割強の取組方針が計画通り進行していることから、計画に基づいた事業展開が着実になされているものと考えている。

## (2) 令和6年度企業版ふるさと納税寄附活用事業の効果検証について

事務局より、資料3、資料4及び資料6を用いて説明

- ・令和6年度企業版ふるさと納税の寄附活用について、総合的な評価としては、令和5年度の寄附実績が寄附企業数1社、寄附金額630万円に対し、令和6年度においては、寄附企業数21社、寄附金額2,550万500円となり大きく実績を伸ばしている。
- ・また、令和6年度寄附充当事業の中には企業版ふるさと納税の寄附があったために実施できたものもあり、令和6年度の企業版ふるさと納税寄附活用については評価できるものと考えている。

### <委員意見>

- ・ただ今の説明の中で、今回、寄附企業数が21社あったということだが、物納や人材派遣型、現金寄附のそれぞれの内訳がどのようになっているのかを、改めてお聞きしたい。
- ・【事務局】物納は1社で、地域防災推進事業として、総額3,368千円の衛星携帯電話及びプリペイドSIM

の寄附をいただいた。人材派遣型は1社で、本市の企業版ふるさと納税推進業務に1名従事していただき、その人件費相当分 6,900 千円を寄附いただいている。その他19社は、6事業に対する総額 15,232,500 円の現金寄附で、その内、観光拠点施設再整備事業に14社からの寄附をいただいたものである。

- ・今回、人材派遣型として、民間企業から企業版ふるさと納税推進業務に従事していただき、成果を上げられたことが、すごく良かったと感じている。昨年度も人材派遣型として、健康福祉部門に従事されていたと思うが、同じ人かどうか、同じ人であれば企業版ふるさと納税推進業務に配置転換された理由と、令和7年度は人材派遣型が無いのかどうか、また、令和7年度の企業版ふるさと納税の寄附額はどのような状況なのかをお聞きしたい。
- ・【事務局】民間企業の営業経験もある人で、民間企業の視点から、1年目は健康福祉部門で新たな事業の立ち上げに従事していただき、一定の成果があったことから、2年目は市としても力を入れている企業版ふるさと納税の推進業務に従事していただいた。企業版ふるさと納税は、決算期や3月に寄附が増えるのが一般的であるが、令和7年度の本市への寄附の動向としては、現時点では、1社からの現金寄附の実績があり、1社から寄附の申し出をいただいている。物納についても1社から提案をいただいているという状況である。
- ・現状では、昨年度よりは寄附額が少ないという印象である。人材派遣型では、企業側も派遣を継続するというのは経営的にも難しいのではないかと考えられるが、民間企業のノウハウを活用できるのは非常に良い取組だと思う。
- ・参考までに、市が給料を払って、民間企業からの出向を受け入れるという仕組みはあるのか。
- ・【事務局】本市では、これまでそういった民間企業からの出向の受け入れの事例はなかったと思うが、企業版ふるさと納税制度での人材派遣型という形での受け入れとして、企業側と協議をさせていただいているという状況である。
- ・現状では、令和7年度は昨年度より寄附の件数が減少しているようであるが、引き続き、藤井寺市をPRし、藤井寺市のファンを増やしていただきたいと思う。

### (3) その他

#### <委員意見>

- ・第六次総合計画については、今回の令和6年度が最初の年度であり、概ね、良い方向で進捗していると感じている。令和7年度、8年度と色々な取組が続いていく中で、令和6年度の振り返りを踏まえ、各部署においても、今後、どのようなところに力を入れていく必要があるのかなども検討されたと思うので、来年度はさらに目標数値などが良くなっていることを期待したい。
- ・子ども食堂を運営していて、近所づきあいが無くなってきている中で、災害が発生したときに、地域でどのようにつながり、家庭環境が様々な子どもたちをどのように守っていけるのかということが一番気になっている。一方で、最近、市内の中学生から子ども食堂でボランティアをしたいとの連絡があり、今度、来てくれることになっている。こうした子どもたちが藤井寺市を支えていってくれると思うので、お伝えしておきたい。
- ・災害時には、地域のつながりで動くことが大切になるが、現在は町内会に入っていない方も多いため、誰が誰をどう支援していくのかは課題であると思う。
- ・新しい時代に合った取組方法もあるはずなので、その辺は、市の方から発信していただくことで、地域もまとまりやすくなるのではないかと感じる。
- ・【事務局】最近では、災害時を想定したLINEを利用した避難訓練なども実施しているが、地域のつながり

りや災害時の対応という点については、課題であると認識している。また、こども食堂の運営に関しては、担当課の方で話し合いの機会も持っていると聞いているので、そうした場で意見交換なども行っていただければと思う。

- ・こども食堂に関しては、本当に素晴らしい取組であると感じる。今は、運営されている方々の善意に頼っているという部分が多いと思うが、地域からの支援や企業さんからの支援の輪なども広がるような形になっていけば良いと感じる。
- ・こども食堂のお手伝いをしたいという中学生がいるということは、今、運営に従事しておられる方々の想いが、次の世代に伝承されているという素晴らしい事例であると思う。
- ・色々な情報発信が重要であり、市の方でも、情報発信のデジタル化や効果的な広報紙の活用方法などの検討が行われているという話があったが、どのような形で情報発信を行い、市民に伝わるかが非常に大切な取組であると感じている。我々も一緒になって考えていきたい。

## 5. 閉会

以上